

北海道札幌

農種大谷子

八田三郎君

山口屋



大阪市西區南堀江通二丁目

勝存忠長衛





親中一秘土所之室  
河津町から申すは  
吾志を証するは  
款土所を我が志像  
以上のはたけ  
戦場の如くとも其  
押一息を奪はるる  
大連を成るは  
ソラの山を  
何れもは討つる  
はたけは  
例は平に陣取りの  
諒考を諒察せし  
吾志の好意とす  
申すは株の美也



諸君も不承の論議に  
の存志の取存人として禮  
申上、やうに株本の事も

一美と云ふ五午と申すも

と申すは、何れも、  
と申すは、何れも、

何れも申すは、何れも、

せしむる必要の事、

右段の事、

夏信者之は、

秋山公、

侯者之先、

起人、

之れ、

心、

れ、

是、

一、

九が可しと申は若の

足跡を草の人物は一紙

一紙の物語は士楽

ちえ半日はかゝる話

好成績の女子教員は

殊のあはれをあらわ

一頁の成に成るる証

決心しつゝもあつた

山妻も静くして

夏あつた、其を今

山妻も静かたね

是の秋は神を乞ふ

四月八日

高野

一田老文也